



様式 1

研 究 計 画 申 請 書

令和 8 年 5 月 15 日

JCHO 三島総合病院  
倫理委員会委員長 様

申請者名  
(研究実施責任者) 望月 一磨

\* 受付番号 R8 - 02

<p>1. 研究課題名 当院地域包括ケア病棟におけるサルコペニアとフレイルの重症度について ～予測式による罹患率の調査と評価バッテリーとの関連性調査～</p>
<p>2. 共同研究者 (氏名及び所属) リハビリテーションセンター：石川平 尾熊洋子</p>
<p>3. 研究などの概要 三島市は 30.6%の高齢化率を占め、当院は地域医療を担う基幹病院として高齢者医療に重点を置いている。加齢に伴う筋萎縮であるサルコペニアの有病率は 65・89 歳で男性 21.8%,女性 22.1%とされており,要介護・障害発生リスクが 1.8 倍,重症サルコペニアでは 2 倍に上昇する。 地域包括ケア病棟におけるサルコペニアとフレイルの罹患率とリハビリテーション評価との関連性を調査することで、リハビリテーションの質の向上に寄与することが目的である。</p>
<p>4. 研究などの対象、実施場所及び期間 対象：地域包括ケア病棟入棟患者 計 89 名 (除外者を除く) 実施期間：2025 年 7 月 1 日～12 月 31 日 除外基準：該当評価を実施できなかった入院患者</p>

注意事項

\*印欄は記入しないこと。

5. 研究の対象となる個人の人件擁護  
データは個人を特定できないように配慮する

6. 対象者（本人及び家族）に理解を求め、同意を得る方法  
（同意書も添付のこと）

当院 HP に該当期間の地域包括ケア病棟入院患者におけるデータを活用することをオプトアウト形式で提示し、同意を得られない場合は該当者を除外する。

7. 研究によって生じる対象者への不利益と医学上の利益または貢献度の予測

後方視的にカルテよりデータを集積するため対象者への不利益はない。

また、地域リハビリテーション事業の拠点施設である当院で本研究を行うことにより、リハビリテーションの臨床推論における質の向上に繋がり、地域の社会保障費の削減に貢献できると考えられる。

8. その他